

宮内そうこ

安心の未来へ

無所属・新人

戸田育ち・2児の母



私も応援しています!

みやうち 宮内そうこ

政策対談

埼玉県議会議員 ももこ こんの桃子

みやうち 宮内そうこ 20のチャレンジ!

市民感覚と母親目線でまちづくりに取り組みます!

教育・子育て・健康・防災の4本柱を、生活者の目線で皆様と一緒に考え解決し、安心の未来をつくってまいります。



「教育」のまち、とだ

未来の戸田っ子が世界で活躍できるよう、国際教育や最先端で質の高い教育を充実させます。すべての生徒が学習と生活の両面で安心して過ごせる環境を整えます。



- 1 世界に羽ばたく戸田っ子の国際教育の推進
- 2 ICT教育・プログラミング教育の促進
- 3 基礎知識・思考力・判断力・表現力を養う教育の充実
- 4 いじめや不登校問題への相談体制の強化
- 5 親子の不安を解消するスクールカウンセラー等の充実

「子育て」のまち、とだ

子育ての孤独感や不安の解消、仕事と育児の両立、子どもの居場所づくりなどの様々な課題を「まち全体で子育てを支える」という理念を元に母親目線で改善します。



- 1 産前産後のお母さんの心身のサポート体制の構築
- 2 子育て世帯の不安解消のための支援
- 3 乳幼児期の保育の質のさらなる向上
- 4 放課後の子どもの居場所の充実・学童保育室の拡充
- 5 子どもの貧困対策・ひとり親家庭への手厚いサポート

「健康」のまち、とだ

新型コロナ感染対策を強化します。また、高齢者や障がい者への生活をサポートし、多様性を認め合う、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちをつくります。



- 1 新型コロナウイルス感染症対策の強化
- 2 行政からのすばやい情報提供と共有体制の強化
- 3 健康長寿のまちづくり・生きがいの推進
- 4 高齢者の在宅福祉サービスの整備と社会参加の促進
- 5 障がい者の自立支援と福祉の充実・バリアフリー化の推進

「防災」のまち、とだ

災害から市民を守り、犯罪や事故を減らし、誰もが安心して暮らせるまちをつくります。地域の力を結集し、お互いに助け合う「自助・共助・公助の仕組み」をつくります。



- 1 台風や集中豪雨などの水害に対する備えと対策の強化
- 2 消防・救急体制の充実や救急救命士の技能の向上
- 3 防犯パトロールの強化・犯罪が起こりにくい環境づくり
- 4 安全な道路環境の整備と交通安全対策の強化
- 5 子ども見守り活動による子どもへの犯罪防止対策の徹底

サポーター募集中!

□リーフレット配布 □事務作業 □ポスター貼り
無所属・新人の私にとって、励ましの一言、サポートの手ほど心強いものではありません。1日、1時間だけでも大歓迎です。宮内そうこを育てていただける皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

連絡先 〒335-0025 埼玉県戸田市南町3-1-402

TEL 070-3181-7754

メール info@miyauchisoko.com

ホームページ <https://miyauchisoko.com/>

政策討議資料



宮内 そご

政策対談

こんの桃子

埼玉県議会議員



宮内 女性の社会参加が進み、子育てや教育環境など社会環境が変化する中、新型コロナ禍で子どもの貧困や虐待などの課題が噴出しました。政治は様々な課題解決を担っています。今、政治においては「母親の目線」が必要だと感じています。

こんの 現職の埼玉県議会議員の妊娠・出産は、私が初めてで、昨年県議会にも産休・育休制度やベビールームを整備していただきました。当事者が政治に参加することで少しずつ女性が働きやすい環境に変わると実感しています。一方、戸田市議会では女性議員は26名中6名と、まだまだ少ない状況です。

宮内 私は翻訳者として海外の事情にも触れることが多いのですが、例えばフィンランドでは、小さなお子さんのいる34歳(※1)の女性が首相になりました。その内閣も19人中12人が女性です。日本は先進国の中でも女性の政治参加率は最下位です。世界を見れば、母親の視点で政治に参加して成果を出している事例がたくさんあります。

こんの 宮内さんも私もまさに子育て中の母親ですが、子育ては計画通りにならないことばかりですよ。

宮内 私は第2子の出産時に切迫早産で入院し、不安な日々を過ごしました。周りの皆さんの助けがとてもありがたく、救われる思いでした。特に様々な事情で周囲の支援が受けにくいご家庭や、ひとり親世帯のご家庭には、地域のサポートが欠かせないと思います。

こんの そうですね。市政には日常生活の課題を解決する力があります。子育てや教育の支援体制を充実していくためには母親の目線は重要です。育児で大変な思いをしている皆さんの想いを、子育て中の母親という当事者が市政に届け、地域を変えていくことには大きな意義があると実感しています。

宮内 はい。私は、具体的には子育て中の母親という視点を活かし、学校・地域・保護者の連携による子育てや、教育の支援体制強化に取り組みたいです。また、翻訳者という仕事の経験を活かし、英語教育や先進的なICT教育を取り入れて、未来の子どもたちの可能性を広げ、戸田を教育日本一



MOMOKO.Konno

母親目線でまちづくりに取り組めます！

SOKO.Miyauchi

まちにしていきたいです。

こんの 戸田市は、都心へも地方へもアクセスが良く、人口増加率、平均年齢、出生率は県内一位(※2)と、特に若い世代に人気があります。未来に羽ばたく子どもたちを大きく育てることは未来への礎です。

宮内 はい。私は、安心して子育てができるよう、産後のサポート体制の構築や、病児保育や学童保育の充実に取り組みたいです。子どもが巻き込まれる犯罪をなくせるよう、見守り強化や防犯カメラ設置など防犯対策にも力を入れたいです。

こんの 若い世代が先頭に立って、安心して子育てできる地域環境をつくっていくことが、30年、50年先の日本の未来をつくります。すべての子どもたちが、なりたい人になれる環境をつくり、温かく成長を見守ることで大人も学ぶことができます。一方で、全国的に見ると单身世帯も増えており、戸田市も例外ではありません。家族の形態も多様化していますよね。

宮内 国連は2015年に「誰一人取り残さない社会」を原則とするSDGs(※3)を採択しました。子どもは「自助・共助・公助」の上に立った地域でこそ社会性を身につけていきます。子ども達が、高齢者や障がいのある方々と交流したり地域活動に参加したりする機会もつくっていききたいです。様々なことを学び多様性を認め合う、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりに、子どもも大人と一緒に主体性を持って参加できるようにしていきたいです。

こんの 宮内さんの「まち全体で子育てを支える」という考え方は、災害から地域を守り、犯罪や事故を減らし、誰もが安心して暮らせるまちをつくるために欠かせない視点です。聡明で優しく、仕事も家庭も全力で取り組む宮内さんなら、必ず実現できると確信しています。

宮内 戸田育ち、二児の母として、安心の未来へ向けて、市民感覚と母親目線で全力でがんばります。本日はありがとうございました！

(※1) 2019年12月の就任当時

(※2) 平成27年国勢調査

(※3) 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称



みやうち そご 宮内 奏子

身長 170cm

- 昭和56年6月20日生まれ(39歳)
- 戸田市立戸田南小学校卒業
- 戸田市立戸田中学校卒業
- 浦和第一女子高校卒業
- 慶應義塾大学 文学部 英米文学科卒業(在学中に英国留学)
- 翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務後、独立
- TOEIC 970点、英検1級
- 家族:夫、長男、次男
- 好きな食べ物:焼肉、ようかん



こんの桃子 金野 桃子

- 昭和58年3月2日生まれ(37歳)
- 戸田市立新曾小学校卒業
- 私立頌栄女子学院中学校・高校
- 慶應義塾大学卒業
- 慶應義塾大学大学院法務研究科終了(法務博士(専門職))
- 元内閣府職員(非常勤)
- 元国会議員公設秘書
- 戸田市議会議員(2期)
- 埼玉県議会議員(1期)
- 家族:夫、長女
- 好きな食べ物:銀むつ、はんぺん